

財務諸表に対する注記（法人全体用）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物、建物付属設備、構築物、車両運搬具並びに器具及び備品　－　定額法
 - ・有形リース資産、無形リース資産　－　リース期間定額法
- (2) 引当金の計上基準
 - ・賞与引当金　－　職員に対する賞与の支給に備える為、支給見込額のうち当会計年度の費用として計上すべき金額を見積計上している。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

社会福祉施設職員等退職手当共済制度または当法人退職金制度によっている。

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の財務諸表(第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)
- (2) 事業区分別内訳表(第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)
当法人では、収益事業を実施しておらず、公益事業はよし乃郷1拠点において社会福祉事業と一体的に実施されているため作成していない。
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)
- (4) 収益事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)
当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。
- (5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
 - ア よし乃郷拠点（社会福祉事業）
 - 「特別養護老人ホーム よし乃郷」
 - 「老人短期入所事業 よし乃郷」
 - 「老人通所サービス事業 よし乃郷」
 - 「老人居宅介護等事業 よし乃郷」
 - 「老人介護支援センター受託事業 よし乃郷」
 - 「公益事業 よし乃郷」
 - 「本部」
 - イ よし乃郷馬場館拠点（社会福祉事業）
 - 「特別養護老人ホーム よし乃郷馬場館」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	41,748,500	0	0	41,748,500
建物	963,667,218	0	42,321,779	921,345,439
建物付属設備	71,328,076	66,487,483	10,996,937	126,818,622
基本財産特定預金	2,000,000	0	0	2,000,000
合計	1,078,743,794	66,487,483	53,318,716	1,091,912,561

7. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	26,748,500 円
建物（基本財産）	449,845,764 円
計	476,594,264 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	108,322,000 円
計	108,322,000 円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	1,798,743,039	877,397,600	921,345,439
建物付属設備(基本財産)	294,330,760	167,512,138	126,818,622
建物	17,380,000	2,465,064	14,914,936
構築物	82,952,389	56,042,903	26,909,486
機械及び装置	15,776,989	1,145,925	14,631,064
車両運搬具	13,577,432	10,529,363	3,048,069
器具備品	270,979,709	226,946,579	44,033,130
有形リース資産	12,650,220	10,899,220	1,751,000
合計	2,506,390,538	1,352,938,792	1,153,451,746

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	129,838,714	0	129,838,714
未収金	0	0	0
合計	129,838,714	0	129,838,714

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. 合併又は事業の譲渡若しくは譲受けが行われた場合には、その旨及び概要

該当なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

財務諸表に対する注記（よし乃郷拠点区分用）

1. 重要な会計方針

（1）固定資産の減価償却の方法

- ・建物、建物付属設備、構築物、車両運搬具並びに器具及び備品　－　定額法
- ・有形リース資産、無形リース資産　－　リース期間定額法

（2）引当金の計上基準

- ・賞与引当金　－　職員に対する賞与の支給に備える為、支給見込額のうち当会計年度の費用として計上すべき金額を見積計上している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 法人で採用する退職給付制度

社会福祉施設職員等退職手当共済制度または当法人退職金制度によっている。

4. 拠点が作成する財務諸表等とサービス区分

当拠点区分において作成する財務諸表等は以下のとおりになっている。

（1）よし乃郷拠点財務諸表(第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)

（2）拠点区分事業活動明細書(会計基準別紙3(11))

- ア　特別養護老人ホーム　よし乃郷
- イ　老人短期入所事業　よし乃郷
- ウ　老人通所サービス事業　よし乃郷
- エ　老人居宅介護等事業　よし乃郷
- オ　老人介護支援センター受託事業　よし乃郷
- カ　公益事業　よし乃郷
- キ　本部

（3）拠点区分資金収支明細書(会計基準別紙3(10))は省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	446,679,173	0	21,849,571	424,829,602
建物付属設備	52,794,682	0	4,904,900	47,889,782
基本財産特定預金	2,000,000	0	0	2,000,000
合計	501,473,855	0	26,754,471	474,719,384

6. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	930,070,144	505,240,542	424,829,602
建物付属設備(基本財産)	200,313,326	152,423,544	47,889,782
建物	17,380,000	2,465,064	14,914,936
構築物	58,143,970	31,754,985	26,388,985
機械装置	2,334,200	170,202	2,163,998
車両運搬具	13,577,432	10,529,363	3,048,069
器具備品	176,607,207	150,437,871	26,169,336
有形リース資産	10,357,920	8,606,920	1,751,000
合計	1,408,784,199	861,628,491	547,155,708

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	68,411,760	0	68,411,760
合計	68,411,760	0	68,411,760

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

財務諸表に対する注記（よし乃郷馬場館拠点区分用）

1. 重要な会計方針

（1）固定資産の減価償却の方法

- ・建物、建物付属設備、構築物、車両運搬具並びに器具及び備品　－　定額法
- ・有形リース資産、無形リース資産　－　リース期間定額法

（2）引当金の計上基準

- ・賞与引当金　－　職員に対する賞与の支給に備える為、支給見込額のうち当会計年度の費用として計上すべき金額を見積計上している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 法人で採用する退職給付制度

社会福祉施設職員等退職手当共済制度または当法人退職金制度によっている。

4. 拠点が作成する財務諸表等とサービス区分

当拠点区分において作成する財務諸表等は以下のとおりになっている。

- （1）よし乃郷馬場館拠点財務諸表（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）
- （2）拠点区分事業活動明細書（会計基準別紙3（11））は事業区分が1事業のため省略している。
- （3）拠点区分資金収支明細書（会計基準別紙3（10））は省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	41,748,500	0	0	41,748,500
建物	516,988,045	0	20,472,208	496,515,837
建物付属設備	18,533,394	66,487,483	6,092,037	78,928,840
合計	577,269,939	66,487,483	26,564,245	617,193,177

6. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	26,748,500 円
建物（基本財産）	449,845,764 円
計	476,594,264 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	108,322,000 円
計	108,322,000 円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	868,672,895	372,157,058	496,515,837
建物付属設備(基本財産)	94,017,434	15,088,594	78,928,840
機械装置	13,442,789	975,723	12,467,066
構築物	24,808,419	24,287,918	520,501
器具備品	94,372,502	76,508,708	17,863,794
有形リース資産	2,292,300	2,292,300	0
合計	1,097,606,339	491,310,301	606,296,038

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	61,426,954	0	61,426,954
合計	61,426,954	0	61,426,954

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし